学校環境を生かした活動

2年　『みんなの公園』の実践

美幌町立美幌小学校　畠山　治夫

◆単元のポイント

○地域の環境を生かした活動場所の設定

身近な自然や地域素材を「子供の学びを支える学習条件」として設定するためには，教師は地域の環境を十分に把握する必要があります。

この単元は，公園内の施設での友だちづくりを中心とした活動を行った児童の「もう一度流れる池で水遊びしたい」という願いを活動の起点としています。前年度の『公園探検』に引き続き，校区にある公園を活動場所として設定しました。「工夫した遊びが考えられる」「四季を通した活動が可能」といったこの公園のもつ子供の活動を広げる要素を生かすようにしました。

○児童の実態と公園

日常の遊びのスタイルがテレビゲーム中心の子供たちは，近くの公園であっても放課後に友だちと誘い合って遊ぶことが少なくなってきています。普段していない遊びを経験させることによって，子供たちはさらに活動の幅を広げていくと考えました。

この単元では，「流れる池」という公園の特性を生かし，そこで遊べるものを工夫して作る活動をメインに構成しました。

○子供の活動を広げるかかわり

子供たちにとって魅力的なおもちゃ作りを試行錯誤を重ねながら遊ぶことで，日常の遊びが豊かになることを願いました。製作過程では，実際に公園に行く前に出来栄えを確かめる「トライコーナー」や友だちにおもちゃを紹介する「自慢コーナー」を設け，遊びの発展・工夫を通して視点の広がりをもち，日常生活や身近な環境に自分で生かしていけるような子供の姿を期待しました。

◆単元の目標

○進んで遊べるおもちゃを作り，流れる池での遊びを楽しもうとする。
（関心・意欲・態度）

○自分なりに遊びを工夫したり，作り方や遊び方をみんなに伝えることができる。
（思考・表現）

○おもちゃ作りを通して，自他の遊びのよさに気付く。
（気付き）

◆単元の構想（10時間扱い）

「みんなの公園」

【子どもの願い・気づき】　【活動の流れ】　【教師の願い・支援】

いざない　1

- ♦クッシー公園が楽しかったよ
- ・また行きたいな

→ みんなでクッシー公園に行こう

何をして遊ぼうかな？

← ・公園に出かけ、流れる池での遊びのイメージを広げる。

出会い　2

- ♦何かを作って遊びたいな
- ・何を作ろうかな
- ・どうやって作ろうかな

→ 池で遊べる物を作ろう

船　水鉄砲　水車　

作り方は？　材料は？

← ・参考例や材料から製作へのこだわりを持たせる。
・同じような物同士でグループを形成。

かかわり①　3

- ♦楽しく遊べる物を作りたいな
- ♦試してみたいな
- ♦自慢したいな

→ 遊べる物を工夫して作ろう

試してみよう　自慢しよう
流れる池で早く遊びたいね

← ・活動が停滞した子への助言。
・個々の進度に合わせ活動の場を設定。

かかわり②　2

- ♦みんなで遊びたい
- ・競争をしよう
- ・改良したいな

→ 流れる池で遊ぼう

工夫しよう　改良しよう

← ・遊びのおもしろさを体感させる工夫。
・活動時間の確保。

ふりかえり　2

- ♦楽しかったよ
- ・自分で作れたよ
- ・違う物も作りたい

→ 感想を発表し合おう

また遊びたいね

← ・振り返りカード。
・交流活動の工夫。
・活動に対する賞賛。

◆実践するにあたって

地域の環境を把握するためには，教師自ら足を運び，「活動のきっかけを生み出す対象があるか」「多様な活動を引き出せるか」等を吟味します。作る物の決定では，流れる池で遊ぶという目的や材料から考えさせます。